

1	運営管理	教育・保育理念を基本に教育保育方針・教育保育目標に基づいて、一人一人の子どもたちを大切に、豊かな感性と仲間づくりを大切にする心を育み、職員相互理解と連携を持ってクラス運営に努めました。子どもたちは、保護者の見守りの中で保育者や友だちと関わりを持ち様々な経験を通して心身ともに成長しました。全職員人権に関することや保育の専門性を高めるための研修を行い、資質の向上に努め保育に取り入れてきました。
2	守秘義務	保育業務の中で知り得た秘密情報については、全職員に守秘義務の徹底を図りました。
3	安全 危機管理	事故、災害危機管理マニュアルをもとに、毎日の安全点検を行い、事故防止に努めました。月1回の防災訓練の実施や不審者対応訓練、地震訓練、風水害訓練において職員連携のもと実施し、保護者の方への協力を要請し、コードモンを使用し非常災害時対応訓練も行いました。また今年度は、飯塚警察署の指導の下、交通安全教室及び不審者対応訓練を実施し、子どもの安全を守るための危機管理意識を高めました。
4	保育環境	園内整備と保育室の環境を整え、子どもたちが、主体的に関われるように遊びのコーナー作りを工夫しました。また、社会性(コミュニケーション力)を育む玩具や手と指を使い、構成しながら楽しむ遊具を新しく揃え、子ども一人一人の遊びが充実するようにしました。
5	健康 衛生管理	園内整備と保育室の環境を整え、子どもたちが、主体的に関われるように遊びのコーナー作りを工夫しました。また、社会性(コミュニケーション力)を育む玩具や手と指を使い、構成しながら楽しむ遊具を新しく揃え、子ども一人一人の遊びが充実するようにしました。
6	保育内容	教育・保育課程に基づいて一人一人の子どもを大切に豊かな感性と仲間を大切にする心を育む保育を行いました。おたよりや送迎の際に子どもの成長を保護者の方へお伝えし、共に喜ぶことができました。
7	食育	給食は、地元産食材を使うことに努めました。菜園活動では、子どもたちが育てた野菜を収穫し、食への関心や食べる意欲を育みました。今年度は、5歳児が夏野菜、4、5歳児がさつま芋の苗植え、収穫を経験しました。また食物アレルギー児の対応も、保護者・給食担当者・担任と連携をとって進めました。また、餅つきを経験し、様々な行事食文化を子どもたちに伝えることができました。
8	子育て支援	保護者とコミュニケーションを図り、園だよりやクラスだよりを毎月発行し、いつでも育児相談ができる体制作りをしていきました。個別に相談があれば園長、副園長、担任と話をすることで、子育てのアドバイスができました。一時預かり事業では子育て支援ができるよう子育ての悩みをお聞きし、助言することができました。
9	地域交流	地域の行事においては、交流センター文化祭には5歳児が、旧松木醤油屋ひいなまつりには4歳児が作品を展示しました。また地域の方との挨拶を交わしたりすることで交流を図りました。
10	苦情報告	園に対して意見・要望などがありましたが、その都度、保護者と話し合い、改善を行うことで理解を

外部評価

- ・保育理念や保育方針に基づき保育の内容や方法を配慮し、人権保育を主とした日々の保育が行われている点は評価できる。
- ・様々なチェックリストやアンケートを集約し公表と同時に改善方法の検討が課題。
- ・ハラスメントと思われる対応に関して、適切なコミュニケーションでのお互いの人格を尊重し支え合えるような職場環境、また休暇の取り方、業務内容においても現状を職員間で話し合い理解しておくことで防止につながるのではないかとと思われる。職場内研修、会議等で職員の相互理解に努める姿は見られたが、職員一人ひとりの資質や性格を考慮した指導も必要なのではないかと思われる。園長・副園長・職員・会計年度職員が情報共有し、意見を言いやすい職場環境と横のつながりをはぐくむ努力が必要と思われる。
- ・勤務体制や休暇取得に関して、園の運営に支障きたすことがないよう職員にも周知し執り行う。
- ・園の課題等、職員間でチェックし合い、良好で良質な職場環境を目指し、子どもや保護者が安心し信頼できる職場の構築を期待する。
- ・子どもの命を守るため、安全・危機管理(人数チェック)の徹底を行ってほしい。
- ・職員相互理解と連携の強化、保育士の資質向上につながる研修内容をさらに充実させ研鑽し続けることを期待したい。

第三者委員(松岡えりこ・城石里恵・白土三津代・住谷洋子)